

(川崎さん)

5日目位になると、足が「パンパン」に浮腫んできました。血流が悪くなったのと、トイレを我慢するのに水分を取らなかった。逆に水分を取らなかった故に、体調がおかしくなったのだらうと思います。

たしか、5日目にDMATのドクターが、「このまま居てもあれだから、病院を探しましょう」という話をいただいて、探していただいたのですが、「緊急の方の方が先ですから」と順位もわかりませんでした。

まず、第一に道路が寸断されていたので、「直接、そういう車両が来ていただけるお約束ができません」ということでした。皆さんに、ご指導いただきながら、なんとか耐え忍んで、自分が利用している「青山彩光苑 穴水ライフサポートセンター」に連絡を取りましたが、「現状ではお迎えすることができません」という返事をいただきました。

「じゃあ、お迎えいただけるようになりましたら、是非、連絡ください」ということで待っておりました。

その間も車の中で、ということになったのですが、DMATの方が地区の対策本部の方にいろいろとお話を持って行って下さって、車いすの方が車の中で生活するのは如何なものか、ということで、今度は地区の消防団の方が、集会場の一室にブルーシートを敷いて下さり、簡易のエキストラベッド、ポータブルトイレを設置していただきました。これでどうですか？ 足を伸ばして寝られませんか？ というところまでして下さいました。地区住民の方々と協力していただいて。それで、初めて足を伸ばして寝ることができました。それであっても、やっぱり寝れないですよ。慣れない場所であるのと、安定感がないですから、身体を動かすにしてもつかまるところがなかったり、柵のないやつですからね。

サイドレールのないやつですから、体を動かすにも非常に緊張して、これは危ないからと、自分の一番安定する姿勢でずっと頑張ってみました。人間は不思議なもので頑張っていると慣れが出て来て、この格好でもいけるのではないかと